

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】

令和7年6月23日

評価対象事業		評価者	道路課長 秋山 崇	
都整-15	交通安全施設整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	道路課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	道路整備	施策の方針	道路・橋りょう整備・維持管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民等の安全性、利便性を確保するため。
効果	安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

2 令和6年(2024年)度実施した事業の概要

- 交通安全施設を改修し、安全で円滑な交通を確保するとともに、通学路の安全対策を実施した。
- 市道055-000号線の歩道段差等改善を行った。
- 市道027-000号線の歩道整備を行った。
- 台雨水幹線上を活用した歩行空間創出のための地質調査・測量業務等を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	交通安全施設整備事業	委託、工事請負費、工事負担金の支出等	—	- / -	66,715	-	
02				/			
03				/			
04				/			
05				/			
06				/			
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	1,574 / 6,550		6,500	
			地方債	12,900 / 43,300		43,100	
			その他特定財源	/			
			一般財源	12,290 / 16,865		5,048	
			事業費の合計(千円)	26,764 / 66,715		54,648	
			人件費(千円)		16,222	17,488	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	1.8	1.8	2.0	2.0	2.0	2.0
会計年度任用職員	0.0	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3

## 5 評価結果

### (1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	交通安全施設整備事業	地元要望、パトロール及び過年度の調査結果などから事業内容や事業規模を検討し具体的な対策を実施しているため、個々の工事毎に内容が異なることから、指標は設定しないこととした。	交通安全施設を改修し、安全で円滑な交通を確保することで安全で快適な生活が送れるまちづくりに寄与した。	歩道の段差改修などによる歩行者の安全対策については、実施しているが、歩道の計画的な修繕については実施に至っていない。そのため、車道の舗装修繕の際に、劣化状況に応じ、歩道を修繕していく。
02	0			
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

### (2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		3 外部化ができる事業はない
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		4 法令等により、市に実施が義務付けられている
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		3 上位施策の貢献度を計ることはなじまない
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2 市民等と協働して実施する事業はない
			協働実施済の場合のパートナー

### (3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>歩行者等の安全な通行を確保するために、歩道段差等の解消やガードレール等の設置・修繕、根上り対策、側溝や河川上部を活用した歩行空間の確保を水路上部を活用した歩行空間の創出を行っており、実現のためには地元町内会や交通管理者等と調整が必要となる。現在寄せられている要望が複数あるが、他事業との発注バランスを考慮し予算拡充ではなく現状維持とする。今後、施工可能な箇所から適宜予算要求していく。</p> <p>道路課の事業のほか他課の事業(委任等)及び無電柱化にかかる事務、用地取得関連事務により、職員2名、会計年度職員1名分の人員が不足している。</p>					

**【参考】**

**◎事業実施に係る主な指標**

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

**◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)**

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--